

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
一括償却資産・・・法人税法の規定に基づく3年均等償却を採用しております。
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) リース取引の処理方法
該当なし
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
三菱UFJ銀行 定期預金	0	0	0	0
三菱UFJ銀行 普通預金	73	0	0	73
小計	73	0	0	73
特定資産				
該当資産なし	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	73	0	0	73

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
三菱UFJ銀行 定期預金	0	0	0	0
三菱UFJ銀行 普通預金	73	0	73	0
小計	73	0	73	0
特定資産				
該当資産なし	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	73	0	73	0

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
該当なし	0	0	0
小 計	0	0	0
その他固定資産			
一括償却資産	0	0	0
小 計	0	0	0
合 計	0	0	0

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末 残高	債権の当期末残高
未収金	1,515,000	0	1,515,000
合 計	1,515,000	0	1,515,000

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. その他

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金を含めている。

2. 資金の範囲の変更

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金	3,580	19,832
普通預金	7,500,682	13,261,586
合計	7,504,262	13,281,418
次期繰越収支差額	7,504,262	13,281,418

4. その他